

油槽所の共同利用等による配送の効率化

1. 塩釜地区

(1) 出光興産、東燃ゼネラル油槽所の共同利用

出光興産、東燃ゼネラル、コスモ石油、昭和シェル石油、JX エネルギー 5社は、震災被害が相対的に軽微で早期に操業を再開した出光興産、東燃ゼネラルの2油槽所を共同利用し、宮城県内への効率的配送を実施

両油槽所は、共同受入棧橋を共同利用し、概ね日量6000KL～8000KLの石油燃料を受入れ、震災前の供給量を上回る出荷を行って、仙台製油所停止に伴う不足分の一部をフォローしている。

【出光興産油槽所】

出光興産とJX エネルギーの2社が出荷設備を共同利用

【東燃ゼネラル油槽所】

エクソンモービル石油、昭和シェル石油、コスモ石油の3社が共同利用

(2) 今後の復旧に関する見通し

【コスモ石油油槽所】

現在は手積みで在庫を出荷中、4月4日には「定量出荷」の再開、さらに4月中旬の完全復旧に向けて努力

【昭和シェル石油油槽所】

4月10日頃に復旧の見込み

2. 八戸地区

(1) 八戸港の整備に伴って、順次各油槽所において3月25日より受入開始来週早々までに、ほぼ震災前に近い水準（8割程度）まで出荷能力が回復する予定

(2) 各社において、それぞれ出荷努力を継続した上で、配送上でボトルネック等が生じた場合には、協力して問題解決に当たることを確認

(3) 社別の油槽所の状況

① 出光興産：3月30日完全復旧済み。

② JX エネルギー：4月4日完全復旧の予定。

③ 東西OT：陸上出荷設備が部分復旧、3月25日より入出荷再開済み。

④ JONET：4月2日完全復旧の予定

(4) 受入面での完全復旧には、港の水深の7.5mへの浚渫が必要

以上